

「 岐阜県発日本一、世界一 ～ 8 月 ～ 」

スポーツ課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成 績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第55回全日本実業団卓球選手権大会 女子団体	優 勝	H.17.7.31	十六銀行		準決勝でサンリツを3対2で破り、決勝では前期日本リーグ決勝で敗れている日本生命と対戦。河村・柳・潮崎の活躍により3対1で下し、4年ぶり4度目の優勝を飾った。 (新潟県：柏崎市総合体育館)
平成17年度全日本ソフトテニス選手権 男子団体	3 位	H.17.7.31	大鹿印刷所A		Aチームは順調に勝ち進み、5回戦で徳島市役所を2対0、準々決勝で厚木市役所を2対0で破り準決勝に進んだ。準決勝は東邦ガスと対戦し、森・三原組が勝つも、続く2組が敗れたため、惜しくも決勝進出を逃した。 (兵庫県：吉川町総合中央活動センター)
第43回全国高校ライフル射撃選手権大会 ビームライフル立射 女子団体	優 勝	H.17.7.31	済 美 高	谷口 晴美 松岡江里奈 中島 博羊	谷口・松岡の最強メンバーを擁し、大会に臨んだ済美高。松岡が本射で、日本・高校・大会タイ記録の400点満点、谷口が399点といずれも実力どおりの高スコアを出し、大会記録を大きく上回る大会新記録で2年ぶり3度目の優勝を果たした。 また、個人でも決勝10発分を含めたスコアで争い、松岡2位、谷口3位と個人優勝は逃したものの健闘した。 (埼玉県：長瀬町長瀬総合射撃場)
	ビームライフル立射 女子個人	2 位	H17.7.31	松岡江里奈 (済美高3年)	
	ビームライフル立射 女子個人	3 位	H17.7.31	谷口 晴美 (済美高3年)	

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第56回日本実業団水泳大会 男子200m背泳ぎ	優勝	H17.7.30	竹内 勇紀 (大垣共立銀行)	大垣商高出身	竹内は大学を卒業し、社会人1年目の大会参加で200m及び100m背泳ぎの両種目ともに大会新記録を出し、2冠に輝いた。 就職後、業務終了後の練習でコンピュータによる泳法解析を導入するなどの成果が、成績に結びついた。 (長野県：長野運動公園総合運動場総合市民プール)
男子100m背泳ぎ	優勝	H17.7.31			
第22回少年少女レスリング選手権大会 30kg級	2位	H17.7.22 ~7.24	(羽島市レスリング連盟) 松井 涼 (正木小4年)		全国から計138クラブ、約1200人の選手が参加し100階級で熱戦が繰り広げられた。 個人戦では、松井が30kg級で25人中2位、松野が40kg級で11人中2位、長沼が42kg級で20人中3位、広瀬が48kg級で6人中2位とそれぞれが健闘し、上位入賞を果たした。 (三重県：県営サンアリーナ)
40kg級	2位		松野 沙也 (中央小6年)		
42kg級	3位		長沼 克哉 (竹鼻小6年)		
48kg級	2位		広瀬 章吾 (竹鼻小5年)		
第21回わんぱく相撲全国大会 4年生の部	優勝	H17.7.31	長尾 勇気 (常磐小4年)		全国236か所の地区大会と18か所のブロック大会を経、約5万人の参加者の中から140チーム、420人のわんぱく力士が参加した。4、5、6年生が各学年に分かれて戦い、4年生の部で長尾が見事に優勝を飾った。 (東京都：国技館)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第26回全日本クラブ女子ソフトボール選手権大会	優勝	H17.7.31	FUKUJISO-OGAKI		決勝戦まで順調に勝ち続け、決勝は2連覇中の大阪トエニーフォーと対戦。3回に2点を先取されるが、5回に一挙6点の集中攻撃で逆転し、7年ぶり5度目の優勝を果たした。 (岐阜県：大垣市杭瀬川スポーツ公園)
平成17年度全国高等学校総合体育大会 レスリング団体	3位	H17.8.3	岐南工高		1・2回戦を順調に勝ち上がり、3回戦は昨年の全国総体で初戦負けを喫した三井高(福岡)。途中、増元が怪我で棄権するも5対2で退け、準々決勝も北部農林高(沖縄)を7対0の圧勝。準決勝で玉名工高(熊本)に4対3で惜しくも敗れた。 (千葉県：佐倉市民体育館)
柔道 男子100kg級	3位	H17.8.3	駒瀬 雅洋 (中京高3年)		1・2回戦を一本勝ちし、3回戦の石田(東海大浦安高)、準々決勝の中田(近江高)に優勢勝ちで準決勝に進んだ。準決勝は西潟(桐蔭学園)との対戦で、身長差も大きく懐の深い相手に苦戦し、結局、効果を奪われ惜敗した。 (千葉県：成田市体育館)
陸上 男子400m障害	2位	H17.8.4	今井 順也 (県岐阜商高3年)		優勝候補の今井は、決勝で実力どおりの走りを見せ、51秒58の自己記録を出すとともに県の高校記録も更新し、優勝には届かなかったものの2位となった。 (千葉県：総合スポーツセンター陸上競技場)
自転車 スプリント	2位	H17.8.5	森川 大輔 (岐阜第一高3年)		春の選抜に続き、同種目2冠を狙って臨んだ森川は、決勝まで順調に勝ち進み、決勝戦では地元京相真人(千葉経大付)と対戦。1本目・2本目と相手にホウムグラウンドの強みを活かされ、惜敗した。(千葉県：松戸市松戸競輪場)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
平成17年度全国高等学校総合 体育大会 自転車 団体追い抜き	3位	H17.8.5	岐南工高		直前の練習で選手が怪我をしたり、競技の進行方法が変わり対応しきれなかったことにより、7年連続13度目の優勝を逃し、惜しくも3位となった。 (千葉県：松戸市松戸競輪場)
自転車 チームスプリント	3位	H17.8.5	岐阜第一高		予選では25チーム中、岐阜第一は4位で僅か0秒409の差で決勝進出を逃した。3位決定戦は白河実高(福島)との対戦となり、1秒153差をつけ逃げ切り、3位入賞を果たした。 (会場：同上)
剣道 女子団体	3位	H17.8.5	中京高		全国制覇を目指して臨んだ本大会。準決勝まで順調に勝ち上がり、準決勝は春の選抜の決勝戦の相手、守谷(茨城)。互角の戦いで引き分けとなり、代表者戦で惜しくも敗れ、3位となった。 (千葉県：館山市館山運動公園体育館)
レスリング 120kg級	3位	H17.8.5	渡辺 郁夫 (中津商高3年)		得意のそり投げで勝ち上がり、準決勝に進出。準決勝の相手は、優勝候補の西潟(桐蔭学園：神奈川)。勝ちを意識し攻め急いだため、途中、左肩を脱臼し棄権となり、決勝進出を逃した。 (千葉県：佐倉市佐倉市民体育館)
柔道 女子個人70kg級	3位	H17.8.5	田淵たまえ (大垣日大高1年)		初の全国大会に臨んだ田淵だが、初戦で一本勝ちして波に乗り、準決勝まで勝ち進んだ。準決勝の相手は鉄屋(同朋高：愛知)。東海総体で勝っている相手だったが、横四方固めで惜しくも敗れ決勝進出は出来なかった。 (千葉県：成田市体育館)

大会、競技会名 (主催者名)	成 績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
平成17年度全国高等学校総合 体育大会 バドミントン 女子単	2 位	H17.8.6	奥 幸奈 (県岐阜商高 2年)		準決勝で作山(上尾高:埼玉)を2対0で圧勝し、決勝の相手は全国選抜の覇者、藤井(青森山田高:青森)となった。1セット目を失うものの2セット目は快勝で奪い返した。しかし、最終セットでミスが目立ち、惜しくも準優勝となった。 (千葉県:野田市総合公園体育館)
バスケットボール 女 子	3 位	H17.8.6	岐阜女子高		3回戦まで快勝し、4回戦で強豪の中村学園女(福岡)を3点差の接戦で下し、準決勝に進出した。準決勝は、優勝校の東京成徳大(東京)に82対105で敗れ、県勢女子では39年ぶりの3位と大健闘した。 (千葉県:船橋市総合体育館)
ヨット 女子FJ級デュエット	優 勝	H17.8.8	海津明誠		各校上位2チームのソロの合計得点で競う。第6レースまでで海津明誠A、B、Cの3チームがソロの2~5位争いを演じ、最後の7レースを行い海津明誠Cが3位、Bが4位、Aが5位となった。
ヨット 女子FJ級ソロ	3 位	H17.8.8	海津明誠C	小島・渡辺亜 稲垣・酒井美	デュエットでは、2位の宮古高(岩手)を大きく引き離し優勝を飾った。 (千葉県:千葉市稲毛ヨットハーバー)
フェンシング 男子個人サーブル	2 位	H17.8.9	立川 雄介 (大垣南高3年)		予選プールにおいて5戦全勝で安定しており、決勝トーナメントに進出後も集中力を切らさず、決勝まで進んだ。決勝は、志賀(仙台南:宮城)との対戦。1点ずつを奪い合う接戦となったが終盤連取され、惜敗した。 (千葉県:松戸市松戸運動公園体育館)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
平成17年度全国高等学校総合 体育大会 男子ホッケー	3位	H17.8.9	岐阜総合学園高		2連覇を目指した本大会、ユース日本代表2名を擁したチームで臨み、準決勝まで進出。準決勝の相手は小国(熊本)で、粘り強いディフェンスの前に2対4で敗れ、決勝進出を阻まれた。 (千葉県:白子スポーツ振興ホール組合サッカー場)
女子ホッケー	2位	H17.8.10	岐阜各務野高		決勝戦まで実力どおり進出し、決勝戦は全国選抜で敗れた羽衣学園(大阪)との対戦となった。お互いに手の内を知り尽くした同士で、前半は互角の攻防を繰り返したが、相手の早い攻撃と正確なパスにより0対3で完敗し、3連覇を逃した。 (会場: 同 上)
フェンシング 女子団体	2位	H17.8.10	岐阜各務野高		全国選抜に続く2冠を狙って臨んだ大会で、準決勝まで圧倒的な強さで勝ち上がり、決勝戦は選抜と同じ和歌山北(和歌山)との対戦となった。いきなり2連敗を喫し、2連勝して盛り返したが結局、2対5で連覇を阻まれた。 (千葉県:松戸市松戸運動公園体育館)
アーチェリー 女子個人	3位	H17.8.10	森下 瞳 (高山西高2年)		個人で215人中17位で決勝ラウンドへ進出。準決勝まで勝ち進むが佐藤(秋田)に敗れ、3位決定戦で岡村(埼玉)との接戦を制した。 (千葉県:船橋市運動公園陸上競技場)
アーチェリー 女子団体	2位	H17.8.11	高山西高	坂本香奈子 田中未知代 森下 瞳 下出真梨子	予選ラウンドを突破し、決勝ラウンド1回戦では高スコアを出し、続く準々決勝で第1シードの菟道(京都)を接戦で下して勢いに乗り、決勝まで勝ち進んだ。決勝戦は、和歌山に力及ばず優勝には届かなかった。 (会場: 同 上)

大会、競技会名 (主催者名)	成 績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
平成17年度全国高等学校総合 体育大会 登 山 女子団体	2 位	H17.8.11	飛騨神岡高	下出 直美 古田 冨 西 多恵子 葛谷 沙穂	昨年、同大会(3位)と同じメンバーで臨み、 チームワーク良く正確な行動記録を作成し満点を 獲得。地の利を得た開催県の千葉に次ぐ2位と健 闘した。 (千葉県:君津市 高宕山コース・三郡山コ ース・元清澄コース)
重量挙げ 94kg級スナッチ	2 位	H17.8.12	糸井川真一 (中津高3年)		スナッチの3本目に115kgを挙げ2位になると、 ジャークで140kgを最後の3本目に成功させ4位 とし、全国選抜ベスト8を上回る、トータルで3 位と大健闘した。 (千葉県:八千代市市民体育館)
94kg級トータル	3 位				
ユニバーシアード・イズミル大会 フェンシング 女子サーブル団体	2 位	H17.8.17	中山 セイラ (朝日大)		トーナメント初戦の準々決勝で中国に逆転勝ち して波に乗り、続く準決勝は地力のあるウクライ ナに完勝。決勝は、強豪ロシアとの対戦となり、 終盤追い上げるものの及ばず2位となった。 (トルコ・イズミル)
第18回全国少年フェンシング 大会 フルーレ 小学1年生男女混成	3 位	H17.8.21	伊藤 拓真 (福束小1年) 川村 理紗 (養基小6年) 安田 有希 (輪之内中1年)		大会は、全国の小・中学生男女約500人が出場し 7部門のフルーレが行われた。 小学1年生男女混成の部の伊藤、同4~6年女 子の部の川村、中学生女子の部の安田の県勢3選 手がそろって3位と大健闘した。 川村と安田の2選手は、10月にドイツのハレ 市で開催されるケーニヒ杯国際大会に日本代表と して出場する。 (京都府:大山崎町体育館)
小学4~6年生女子	3 位				
中学生女子	3 位				

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第14回全日本新体操クラブ 選手権大会 1部リーグ	2位	H17.8.21	NPOぎふ新体操 クラブ	浅井美彩登 舛中はるな 浅野 みわ	クラブ対抗戦は、シニア(中3以上)2人とジュニア(小5~中2)1人の3人の個人成績(4種目)の合計で競う。シニアは浅野・浅井、ジュニアは舛中の3人が出場し、参加207チーム中、県勢過去最高の2位となった。また、県勢では初の世界クラブ選手権の出場権(10月:東京)を獲得した。 (東京都:東京体育館)
ジュニア個人総合	優勝	H17.8.21	舛中はるな (NPOぎふ新体操 クラブ)		4種目の合計で競う個人総合。中学2年の舛中は、安定した演技で得点を重ね、本命視されていた穴久(イオン)が決勝の2種目でミスし、頂点に立った。 (会場: 同 上)
第40回全国都道府県対抗自転車 競技大会 4,000m団体追い抜き	優勝	H17.8.22	岐南工高	加藤 昭宏 不破 将登 野村 大 井関 太一	予選で4分33秒999のチーム最高タイムで決勝に進出。決勝の相手は、全国高校総体優勝校の和歌山北高となり、中盤までやや出遅れていたが徐々に盛り返し、ゴール直前で逆転。2年連続8度目の優勝を果たした。 (兵庫県:明石市明石公園自転車競技場)
男子スプリント	3位	H17.8.23	森川 大輔 (岐阜第一高 3年)		全国高校総体で2位となっている同種目。本大会で優勝を狙っていたが、僅かの差で優勝した阿部(宮城)・河端(鳥取)に次いで3位となり、全国高校総体に続く入賞を果たした。 (会場: 同 上)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
平成17年度全国中学校体育大会 陸上競技 男子走り幅跳び	優勝	H17.8.22	恩田 真規 (長良中3年)		予選は6m80で1位通過。決勝では、トップと21cmの差があったが、最終跳躍で追い風参考(4.7m)ながら大会記録を上回る、しかも自己記録を58cmも更新する大ジャンプで優勝した。 (岐阜県：長良川競技場)
競 泳 男子200m自由形	3 位	H17.8.22	則武 寛唯 (帝京大可児中3年)		予選最後の7組目に出場し、49人中1分57秒90の2位通過で決勝へ進出した。決勝では、1位の清水(埼玉)に約2秒遅れ、1分57秒15で3位入賞を果たした。 (三重県：鈴鹿市三重県営鈴鹿スポーツセンター)
サッカー	3 位	H17.8.23	帝京大可児中		初出場ながら順調に勝ち進み、準決勝ではルーテル学院(熊本)との対戦。前半は、互角の戦いであったが、後半にリズムが狂い、セットプレーから2点を失点した。チャンスはあったものの、相手の攻守に阻まれ、決勝進出を逃したが、笠松中以来の21年ぶり2度目の3位入賞となった。 (愛知県：豊田市豊田スタジアム)
新体操 個人総合 種目別フープ 種目別ロープ	2 位 1 位 2 位	H17.8.25	横山 加奈 (羽島中1年)		横山は、今年2月の全日本新体操チャイルド選手権で優勝、8月の東海中学校体育大会で個人優勝している。 本大会でも、優勝を狙って臨み、普段通り落ち着いた演技ができ、種目別でフープ1位、ロープ2位となり、個人総合で惜しくも優勝を逃すも2位となった。 (静岡県：静岡市立中央体育館)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第32回全国中学生テニス選手権大会 男子ダブルス	3位	H17.8.23	岡田 亮 旗 宏輔 (緑陽中3年)		1・2回戦で鹿児島・宮崎の九州勢を退け、準々決勝では、青森山田中の強豪を破り、勢いに乗った。準決勝で、東海大菅生中学校(東京)との対戦となり、惜しくも敗れ3位となった。 (愛知県:名古屋市東山公園テニスセンター)
第6回関西小学生ゴルフ選手権大会	優勝	H17.8.24	副田 裕斗 (岐阜大付小5年)		決勝には、関西地区の予選を勝ち抜いた小学生男子20人が出場。18ホールストロークプレーで競われた。副田はパットが好調で、前半2アンダー、後半3アンダーで、出場選手中ただ一人のアンダーパーで優勝を飾った。 (兵庫県:神戸市ダノンゴルフコース)
第2回全国小学生学年別柔道大会 6年女子45kg超級	3位	H17.8.24	渡部 紫織 (京町小6年)		体重別の男女各4部門があり、全国から約400人が出場。 渡部は、予選リーグから準々決勝まですべて一本勝ちで勝ち上がり、準決勝は井坂(千葉)と対戦。惜しくも判定負けで3位となった。 (秋田県:県立武道館)
第42回日本女子学生ゴルフ選手権競技	優勝	H17.8.26	宅島 美香 (名商大)	美濃加茂高出身	出場選手32人。初日、74の6位で発進した宅島は、2日目に73、最終日はショットは良くなかったが、パットとアプローチが冴え74で、トータル5オーバーの221で、大学1年生でタイトルを手にした。なお、9月末の日本女子オープンゴルフ選手権競技(神奈川)の出場権を得た。 (岐阜県:関市岐阜関カントリー倶楽部)

大会、競技会名 (主催者名)	成 績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第61回全日本大学対抗選手権 自転車競技大会 タンデムスプリント	2 位	H17.8.25 ~28	朝 日 大	鷲原 大直 高木 健也	朝日大の自転車競技部は、創部3年目の若いチームでありながら、タンデムスプリントで準優勝、1,000mタイムトライアル、4,000m団体追い抜き、ポイントレースの3種目で3位と大健闘し総合成績は、昨年度の12位から5位に入賞する大躍進を果たした。 (岩手県：紫波町紫波自転車競技場)
4,000m団体追い抜き	3 位		朝 日 大	中島 和夫 増田 智仁 菊池 誠晃 和田 昌也	
ポイントレース	3 位		柴田 一樹 (朝日大)		
1,000mタイムトライアル	3 位		後藤 彰仁 (朝日大)		